

地震災害予測研究会（第5回）議事要旨

日 時： 2020年12月15日(火) 14:00～16:00

場 所： WEB会議

出席者： ([]は欠席委員 敬称略)

(委員) 林康裕 和泉正哲 北川良和 腰原幹雄 境有紀 山田哲

(機構) 鈴木 山口 (リスク業務部)

(事務局) リスク業務部火災・地震リスクグループ

議 事：

1. 被害関数から計算した被害量と保険の支払実績とのかい離の要因について、地震動指標の観点（建物への入力地震動の強さの推定誤差等）で整理し、報告した。主な意見は次の通り。
 - A. 地震動の卓越周期や、入力損失の影響など、入力地震動の精査も必要
 - B. 実績データとの整合性だけに着目せず、物理的背景を重視すべき
2. 新しい損壊被害関数の構築手法の素案について説明し、議論した。主な意見は次の通り。
 - A. 工学モデルの各種のパラメータを実績に合わせこむための調整係数を用いることも考えられる。ただし、調整係数を用いる場合においても、調整係数を要する要因が何であるかを整理しておくことが重要
 - B. 構造種別ごとに、工学的モデルに用いている耐力、変形性能、入力地震動のいずれに疑問が残っているのかを整理し、課題を絞った上で検討を進めるべき

以 上